

計画本部では、新エネルギー等の導入促進のため国や関係機関への政策提言のとりまとめを行っているほか新エネルギー等に関する技術開発、国際協力活動、普及啓発並びに情報提供のための諸活動を行っています。

新エネルギー産業会議の運営と政策提言

政府を中心として進められている新エネルギー等の導入・普及のための諸制度の整備などに関して、関係産業界の意志を反映するため、新エネルギー産業会議を設置して、調査・提言活動を行っています。この新エネルギー産業会議は、個別分野の委員会の活動成果を踏まえて政策提言のとりまとめを行っています。計画本部で担当している委員会とその主な審議事項を次に示します。

1. 企画委員会

- (1) 各委員会の活動成果に基づく提言案の審議や他の委員会の所管に属さない事項の審議
- (2) なお、企画委員会には、特定の事項を審議するため小委員会を設置することができます

2. 個別分野の委員会

以下の各分野における開発・導入促進に関する調査および提言案の策定を行っています。

- (1) 燃料電池委員会
- (2) 石炭エネルギー委員会
- (3) 風力委員会
- (4) 廃棄物発電委員会
- (5) バイオマス委員会
- (6) 太陽エネルギー委員会
- (7) 地域エネルギー委員会

<http://www.nef.or.jp/introduction/teigen/index.html>



2. 新エネルギー人材育成研修会

新エネルギービジネスを担う事業者、専門家およびコーディネータなどの人材育成を目的として開発されたカリキュラム、教材に基づき研修会を開催しています。研修コースとしては、①事業化支援コース②風力コース③バイオマスコース（木質バイオマスコース、バイオガスコース、バイオ燃料コース）が準備されており、新エネルギーに関する基礎から専門分野までの幅広い知識の取得が可能な内容となっています。



新エネルギーの導入促進・普及啓発

1. 新エネ大賞の表彰

新エネルギーの一層の普及を図ることを目的として、平成8年度より公募による表彰を実施しています。表彰対象は、新エネルギー等に係る先進的、独創的な商品、優秀な新エネルギーの導入事例や普及促進活動としています。審査は、学識経験者等で構成する審査委員会で行い、優秀なものを「経済産業大臣賞」、「資源エネルギー庁長官賞」、「新エネルギー財団会長賞」等として表彰しています。

これまでに優れた事例を開発、導入した企業や団体に対して多くの表彰をしており、新エネルギーの導入促進と普及啓発に大きな役割を果たしています。

<http://www.nef.or.jp/award/index.html>

情報提供および情報交換活動

1. 新エネルギーに関する調査、情報の提供

新エネルギーに関する導入事例、導入の進め方等について情報収集を行うとともに整理、分析するなどして情報の提供を行っています。

2. 国際交流活動

新エネルギー技術の開発と実用化、政府と産業界との協力のあり方等に関し、海外政府、団体、研究機関と情報交換を行っています。

アジアにおけるバイオマスエネルギーの普及促進支援

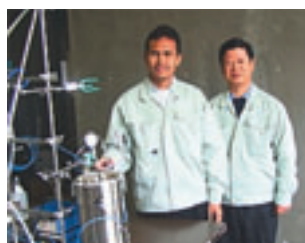
昨今のエネルギー需給の逼迫や地球温暖化問題の深刻化等を背景に、化石代替燃料としてのバイオマスエネルギーの導入が世界的に重要な課題となっています。

特に、豊富なバイオマス燃料資源を有するアジア諸国においても、バイオマス燃料の導入が進められていますが、原材料と食糧との競合問題やバイオマス混合燃料の品質の確保など、本格的な普及・導入に際して多くの課題を残しています。

そのような状況の中、アジアにおけるバイオマスエネルギーの普及促進を支援する為に次のような活動を行っています。



修了証書の授与



研究風景



北海道合同研修

1. アジア・バイオマスエネルギー研究者受入

アジア諸国のバイオマスエネルギー研究者、実務者を我が国のバイオマス関連機関に受け入れバイオマス事業、技術を紹介し実務研修や共同研究を支援する事業です。

アジア諸国から多くの研究者、実務者を招聘しプログラムの調整、研修付帯業務の実施、生活面の支援をしています。

将来の研修企画充実のため、成果報告会や海外ワークショップ等も開催しています。

2. 我が国のバイオマスエネルギー研究機関等データベース

アジア各国がバイオマスエネルギー関連の共同研究、研修、調査等の参考とするために作成したものです。

日本国内のバイオマスエネルギー関連の研究機関、企業の情報が①団体名②バイオマス分類③所在地④団体区分⑤受入内容（共同研究、研修、訪問等）⑥バイオマス原料⑦最終生成物の7分類にデータ化されており分類、フリーワードで検索することが可能です。

情報はバイオマスエネルギー関連の研究機関、企業等に実施したアンケートを元にデータ化されており毎年データの更新・追加をしています。日本語と英語で公開されており世界中から誰でも使用できるようになっています。

<http://jrdb.asiabiomass.jp>

3. 我が国のバイオマスエネルギー研究機関等データベース

日本やアジア各国におけるバイオマスエネルギーに関係した活動や最新ニュースなどの情報を発信する“アジアバイオマスオフィス”を作成し情報の共有を図っています。サイト内の更新部分にはイベント情報、特集記事、官公庁からのプレスリリース集等があり定期的に更新を行っています。

<http://www.asiabiomass.jp>

4. その他海外調査等

東アジア各国のバイオマスエネルギーの研究協力・人材研修等のニーズ等を把握するために、東アジア各国のバイオマスエネルギーの導入状況、研究内容、国の施策等の情報を網羅する「東アジア諸国におけるバイオ燃料に関するデータベース」の構築、公開をしています。

<http://www.asiabiomass.jp/biofuelDB/>

燃料電池導入促進のための事業

1. 定置用燃料電池大規模実証事業

定置用（家庭用）の固体高分子形燃料電池（PEFC）システムを全国各地の一般家庭等に多数設置し、実際に住宅で使用しながら運転データを取得することで、家庭用PEFCシステムの市場創出段階における技術レベルの把握及び商用化に必要な技術課題の抽出を行ない、市場導入の基盤形成を図ることを目的としています。

家庭用PEFCシステムを設置・運転・データ取得をする事業者に対して助成金を交付する形で事業を実施し、初年度の平成17年度から平成20年度の4ヵ年合計で3307台に助成を行いました。

データ評価分析結果から豊富な運転実績と優れた性能が大規模実証事業の成果として実証され、家庭用PEFCは商品名「エネファーム」として平成21年5月から商用化、一般販売が開始されています。

2. 固体酸化物形燃料電池実証研究

発電効率がより高く次世代の燃料電池として研究開発が進められている固体酸化物形燃料電池（SOFC）システムを一般家庭等に設置し、実際に住宅で使用しながら運転データを取得することで、家庭用及び小規模業務用SOFCシステムの最新技術レベルの把握及び技術開発課題の抽出を行ない、実用化に向けた今後の開発を促進することを目的としています。

事業初年度の平成19年度は29台、平成20年度は36台に助成を行ないました。引き続き、平成21年度67台、平成22年度72台（予定）についても運転データの評価分析と技術課題の抽出を進めていきます。

3. 燃料電池実用化推進協議会の運営支援事業

燃料電池の実用化及び市場普及の推進を目的として燃料電池メーカー及びエネルギー会社等により設立された燃料電池実用化推進協議会（FCCJ）の円滑かつ効率的な運営を図るため、運営の事務局として支援を行っています。



家庭用PEFC システムの設置例
（定置用燃料電池大規模実証事業）

実証事業の概要や成果を紹介するホームページ

<http://happyfc.nef.or.jp/>（定置用燃料電池大規模実証事業）

<http://sofc.nef.or.jp/>（固体酸化物形燃料電池実証研究）

太陽光発電の普及促進について

平成6年度から平成17年度まで住宅用太陽光発電システムの助成事業を実施し、また、平成17年度から平成20年度まで太陽光発電新技術等フィールドテスト事業を実施しました。これらの実績を踏まえて太陽光発電の普及促進に寄与できるようホームページで情報提供をしています。



集合住宅（設置容量：20kW）
新カレッジタウン管理組合法人（東京都）